

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第60号	氏名	和泉 良大郎
学位審査委員	主査	藤井 弘之	
	副査	林 善彦	
	副査	原 宜興	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、隣接面を含む歯冠修復物の有無と、歯周炎の発症や進行との関連を、歯群別に明らかにすることであり、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>初診時において、歯周ポケット測定値が記録されている者については、歯周ポケットの深さにより歯周炎の状態を判定し、さらに、全ての対象者については初診時に撮影したパノラマX線写真をもとに、第3大臼歯を除く全ての現在歯の歯冠修復状況と、近心側および遠心側の歯槽骨吸収の状況を Schei のスケールを用いて判定しており、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>隣接面を含む歯冠修復物の有無と、歯槽骨吸収の程度との関連を、歯群別、年齢区分別にみるため、各階層別に分析を行っており、解析方法は妥当である。その結果、歯群別、年齢区分別に特異性があることが明らかとなった。これらの結果は、歯周炎と関連する他要因の影響を十分に排除することはできなかったものの、隣接面を含む歯冠修復物が、歯周炎の発症と進行に関連する要因である可能性を示した点で大きな意義を有する論文である。</p>			
<p>以上のように本論文は、隣接面を含む歯冠修復物と歯周疾患の発症や進行との関連を明らかにし、歯周疾患の予防に対する貢献は大であり、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			